

第8期 第2回 静岡市行財政改革推進審議会 諮問事項 説明資料

**歴史・文化資源の活用及び  
その周辺地域との連携による地域活性化について**  
**～登呂エリアをモデルとした歴史・文化資源の活用方策～**

平成30年10月16日（火）



# 【市全体】点在する歴史・文化資源のみがきあげ～歴史文化のまちの実現を目指して～

【歴史体感展示イメージ】



(仮称) 静岡市歴史文化施設  
(※) H33オープン

小島陣屋跡 (史跡)



東海道広重美術館

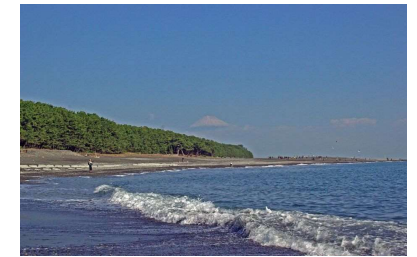


三池平古墳

清見興国禅寺

フェルケール博物館

次郎長生家



三保松原 (世界文化遺産)



静岡浅間神社

賤機山古墳

臨済寺

草薙神社

鉄舟寺



登呂遺跡 (特別史跡)

静岡近代美術館

静岡市美術館

駿府博物館



久能山東照宮 (国宝)

※ (仮称) 静岡市歴史文化施設建設基本計画より

本施設は、「歴史文化のまちづくり」の拠点の役割を果たすことで、国内外から多くの人々が訪れ、活発な交流が行われるまちの実現に貢献することをめざしていきます。そして、多くの人々が市内各地域に実際に足を運び、地域の人たちと交流する機会を創出することで、地域活性化の一翼を担います。



## 【審議対象】登呂エリアの現況



登呂博物館



芹沢銈介美術館



有料駐車場 (51台)

ガイダンス施設



登呂遺跡公園



芹沢銈介の家

○特別史跡 全国で1,795件ある史跡のうち、「学術上の価値が特に高く、我が国文化の象徴たるもの」として、62件が指定されています（H29.11.1現在）。原始時代の遺跡では、他に三内丸山遺跡（青森県）、吉野ヶ里遺跡（佐賀）等が該当します。

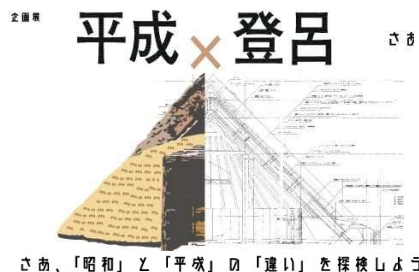
○用途地域：第一種住居地域（容積率200 建ぺい率60）  
 ○高さ制限：最高高さ19m  
 ○その他：都市公園法、博物館法、文化財保護法等の規制有



# これまでの登呂エリアにおける取組

## 登呂博物館・芹沢銈介美術館による取組

○来館者数の増加を目指し、様々な展示・イベントを企画



▲新たな来館者の獲得に向け、各館で年に2～4回程度企画展を開催。  
(※詳細は現地にて説明予定)



▲夏休み期間中などに主に小・中学生を対象とした各種イベントを開催。



▲過去には現代アートとのコラボレーションも。

## 市以外の団体等による利用

○住民団体等が年に数回イベントを開催



**5月5日 静岡市立登呂博物館**  
フランス風トロローと記念撮影  
11:00～18:00 随時開催  
土器炊飯の古代米3色食べ比べ  
11:00～/14:00～  
トリコロールカラーの腕輪づくり  
10:00～/10:45～/11:30～  
13:00～/13:45～/14:30～/15:15～  
所要時間/30分程度

**静岡市立芹沢銈介美術館**  
使える! 折染の和紙を作ろう!  
芹沢銈介美術館では、いろんなラッピングに使える和紙の折染をつくりたい。トリコロール色の、やさしい味わいの折染を作りましょう!  
●実施期間/5月5日(土)13:00～15:30(時間内ならいつでも参加できます)  
●所要時間/15分程度  
●実施場所/芹沢銈介美術館 出口  
●参加費/無料(ただし、美術館観覧料は必要)  
●問い合わせ/054(282)5522

▲静岡×カンヌ×映画プロジェクト実行委員会による「シズオカ×カンヌウィーク」。期間中に登呂博物館、芹沢銈介美術館でもイベントを開催。



▲登呂会・登呂まつり実行委員会が毎年開催する「登呂まつり」。登呂博物館も協力し、地域との関係性を強化。

▲その他、子ども会による田遊び(田植え～稲刈り～餅つき)や地域の小学校による写生などに利用されています。

## 登呂エリアを取り巻く追い風と逆風

### ○文化財の保護から活用へ

国で、観光・地域振興、民間投資の促進のため、文化財の保護から活用に向けた検討がされている。

### ○市内歴史資源への注目

国宝に指定された久能山東照宮や世界文化遺産の構成資産である三保松原をはじめ、市内の歴史資源への関心が高まっている。

### ○登呂エリア周辺の開発が促進

平成31年の（仮称）静岡東スマートインターチェンジの供用開始に伴い、企業立地及び土地区画整理事業を推進しており、新たな人の流れが生まれてくる。

### ○駿河区の魅力づくり活動の高まり

登呂遺跡のゆるキャラ「トロペー」を駿河区唯一の公認応援隊長として、イベントに活用している。

### ○訪日旅行者数（インバウンド）の増加

清水港寄港客船及び静岡空港利用者が増加している。

### ○博物館や美術館の持つ集客力の限界

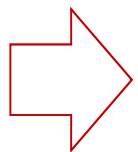
登呂博物館、芹沢銈介美術館ともに入館者数が減少傾向。また、目的外使用については限定的。

### ○全国的に知名度を上げる機会の減少

学校の歴史の教科書に登呂遺跡に関する掲載がされないものも出てきた。

### ○観光地としての動機付けの弱さ

学術的価値は高いものの、戦国時代のような魅力的なストーリーや著名な人物などが不明。



**歴史文化資源を活用し、当該エリアへの交流人口を増加させ、  
地域活性化へと繋げる**

## 今後のスケジュール

回数及び日程	会場	内容
第2回 10月16日(火)	市役所本館 第3委員会室	9:30~10:00 市長からの諮問 10:00~12:30 登呂エリア視察（現地にて登呂博物館、芹沢銈介美術館館長から現状説明）
第3回 11月15日(木) 午前10時~正午	登呂博物館	○現地視察を踏まえた意見交換 ○意見交換を踏まえた論点整理 ※必要に応じ現地見学
第4回 12月12日(火) 午前中2時間程度	市役所	○論点について議論（1回目） 論点ごとに、各委員の提案・意見に対する行政の考え方を示し議論を深堀する
第5回 1月	市役所	○論点について議論（2回目）
第6回 2月	市役所	○答申内容についてまとめ
第7回 2月	市役所	○答申



# 【駿河区】登呂エリア及びその周辺の概況（参考）

